

# ACE 人権通信 9月

人権教育・啓発通信：「エース」  
 発行：阿南中学校家庭・人権教育部  
 (No.5) 2023年9月29日(金)  
 文責：人権教育主事 中岡 和也

9月も終盤となり、少しずつですが暑さも和らぎ過ぎやすくなってきました。前期の終わりも近づく中で、嬉しいできごとがありました。3年2組で配りものをしようとしたときに「先生手伝いますよ。」と言ってくれました。3年4組で休み時間の会話の中に、Aさんが友達の作品を見て「めっちゃうまいでー。すごいなー。」と仲間のよさを言葉にして伝えていました。1年5組の前を通ると毎回気持ちいいあいさつをしてくれます。このような「言葉」に出会うととっても幸せな気持ちになりました。しかし、聞いていて嫌な気持ちになる「言葉」もあります。たとえ短い「言葉」でも幸せになったり、救われたりします。たとえ短い「言葉」でも誰かを不幸にし、心に深い傷を負わせます。私自身も含めてですが、今使っている「言葉」は誰かを幸せにできていますか？今一度自分自身が使っている「言葉」を振り返ってみましょう。



## ◇人権啓発標語学校代表が決定

7月に学校や各家庭で考えていただいた人権啓発標語の審査を教職員、PTA家庭・人権教育部の皆様にご協力いただき行いました。審査の結果、次の標語が学校代表として選ばれました。今回紹介する人権標語を通して、誰もが過ごしやすい社会にするために自分自身に何ができるのかを考えるきっかけにしてほしいです。また、思いの込もった人権標語を考えてくださりありがとうございました。

### <生徒代表作品>

- |    |        |  |
|----|--------|--|
| 3年 | 新居 杏月  | 「ぼくなんか」ちがうよ君は必要で<br>優しい君にはげまされてる       |
| 3年 | 鳥海 葉月  | 見つけよう 相手の魅力 自分の魅力                      |
| 2年 | 生田 蒼   | 「どうしたの」あなたの声が 誰かを救う                    |
| 2年 | 八木 啓太郎 | ありがとう どういたしまして こちらこそ<br>いつも飛びかう そんな社会に |
| 2年 | 谷井 心奏  | 女らしく 男らしく 大事なものは自分らしく                  |
| 2年 | 西前 花菜  | 考えよう 見えないからこそ 相手の気持ち                   |
| 2年 | 喜多 月都  | ありがとう 思いを君に 伝えたい                       |
| 1年 | 米沢 伊織  | その言葉 どう受け取るかな 自分だったら                   |
| 1年 | 黒田 彪太郎 | 見のがすな あの子の心の SOS                       |
| 1年 | 大迫 朗   | 考えよう 言葉やネットの使い方                        |

### <保護者代表作品>

- |          |                      |
|----------|----------------------|
| 喜多 孝司さん  | スマホより 見るものあるよ 子どもの未来 |
| 岡澤 慎一郎さん | 多様性 認めて広げる 自分の器      |
| 篠原 千晴さん  | 一呼吸おいて考える 言葉の重み      |
| 田神 由紀さん  | 受け容れる 親の笑顔で 子は育つ     |

## ◇人権ポスター原画コンクール&人権ポスターの作品紹介

6月21日(水)に人権ポスター原画コンクールの審査を人権ボランティア部が中心となり、実施しました。様々な人権問題解決を呼びかける内容や心温まる言葉を各学級でポスターに描きました。一人一人がポスターを通じて差別を許さず、仲間を大切にしていこうというメッセージを発信していました。職員室横に各学級の代表作品を掲示しています。代表作品を見て、人権について考えてみてください。

### 人権ポスター原画コンクール作品



### 人権ポスター作品





## ◇6・8月の阿南市人権教育・啓発市民講座に参加して

6月20日（火）と8月22日（火）に阿南市人権教育・啓発市民講座が開かれました。6月の講座では、徳島県ハンセン病支援協会副会長の徳山富子さんより、「ハンセン病問題を学んだ私たちにできること」という演題で、また、8月には、本庄教育集会所所長の乾和彦さんより「インターネット社会と同和問題の現実」という演題で講演をしていただきました。

今回、講座に参加したPTA家庭・人権教育部の部員の方の感想を紹介します。



ハンセン病という言葉を知らない大人はいないでしょう。しかし、私は講演会を聞いて、ハンセン病患者が療養所でひどい重労働を課せられていたことや未だに偏見を恐れて本名を名乗れない方がいることを知りました。らい病を完治した患者さんが「やっと人間に戻れるんだ」と言った言葉が印象的でした。かつてコロナ禍に「自粛警察」という行動が見られました。まさにハンセン病で行われた「無らい県運動」を彷彿させるようでした。これから私たちにできることは、正しい情報と知識を得て、今後同じような過ちを繰り返さないよう後世に伝えていくことだと思います。

普段何気なく、便利に利用しているインターネットについて改めて考えさせられました。もし、自分の知らない間に、自分の情報がインターネット上に流れていたらと思うとこわいです。講演の中でギターと素敵な歌が聴けてとてもよい人権講座でした。  
( 2年 大島 かおりさん )

## ◇令和5年度 阿南市中学校人権に関する意見作文発表会

8月8日（火）に阿南市中学校人権に関する意見作文発表会が阿南第一中学校で開催されました。阿南市内の中学校の代表生徒が集い、自らの経験やこれまで学習してきたことなど様々な人権問題について発表がありました。

本校からは、3年3組中岡諒兜さんが「友達だからこそ」という題で発表をしました。友達の間違った言動や行動に対して、正しい方向へ導いていくことも友情であり、自分自身の行動を振り返ることも大切だという内容でした。多くの人の中で発表するのは緊張もあり、大変だったと思いますが、中岡諒兜さんの作文に心を打たれました。一生懸命読んでくれてありがとうございます。



## ◇人権ふれあい子ども会クリーン作戦&花火大会

8月26日（土）に人権ふれあい子ども会の「クリーン作戦&花火大会」が開催されました。生徒・保護者・教職員が協力して地域のゴミ拾いやグラウンドの草抜きをしました。作業終了後に花火大会を行ったり、かき氷が振舞われたりして参加者全員が楽しむことができていました。今後も様々な活動を通して、仲間との絆を深めてほしいです。



## ◇阿南中学校夏季人権教育研修会について

本校の教職員や保護者の人権教育研修として、8月29日（火）に阿南中学校夏季人権教育研修会を行いました。今回、講師として一般社団法人山口県人権啓発センター事務局長の川口泰司さんをお迎えし、ネット人権侵害と部落差別の現実～「寝た子」はネットで起こされる！？～と題してお話していただきました。現在の部落差別の現実を語っていただく中で、「自分は差別をしないから、関係ない」という無知・無理解・無関心な考えが当事者を傷付け、差別に加担してしまうとおっしゃっていました。また、正しい意見に対して「me too=私もそう思う」と続く存在や理解者がいることが、差別をなくす大切なことだと参加者全員が学びました。今後、普段の生活や授業などで今回の学びを生かせるようにしていきたいです。



## ◇次回 阿南市人権教育・啓発市民講座 案内

- 日時 令和5年10月24日（火） 14:00～15:30（13:20受付）
- 場所 阿南市文化会館（夢ホール）2階研修室
- 講師 弁護士法人ひまわり法律事務所 弁護士 橋本 正成さん
- 演題 『犯罪被害者支援と二次被害の防止』

※13:50から10分程度、手話講座があります。